

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

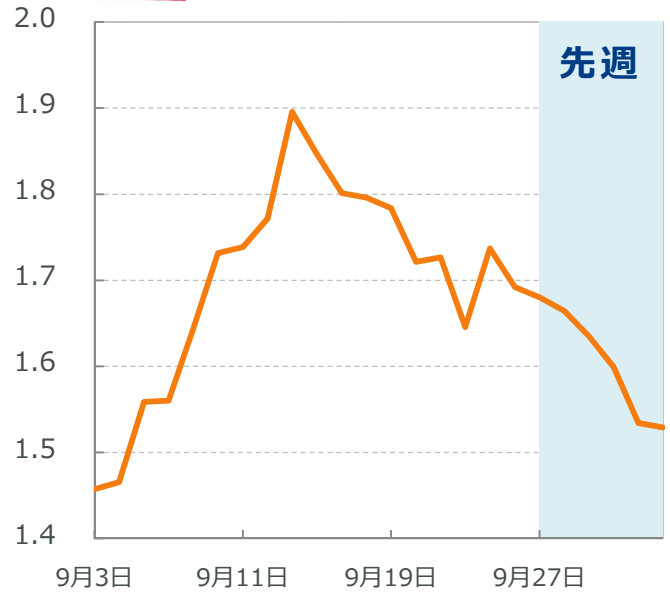
POINT 先進国国債利回り

【2019年9月30日～2019年10月4日】

米国国債利回りは低下

- ◆米供給管理協会（ISM）非製造業総合景況指数が低調だったことなどを背景に米国の利下げ観測が高まり、安全資産とされる米国国債は買いが進みました。
- ◆日銀が10月のオペ計画で超長期債の買い入れ額の下限をゼロに引き下げたことなどをを受けて日本国債は売られる場面もあり、利回りは週間で上昇しました。

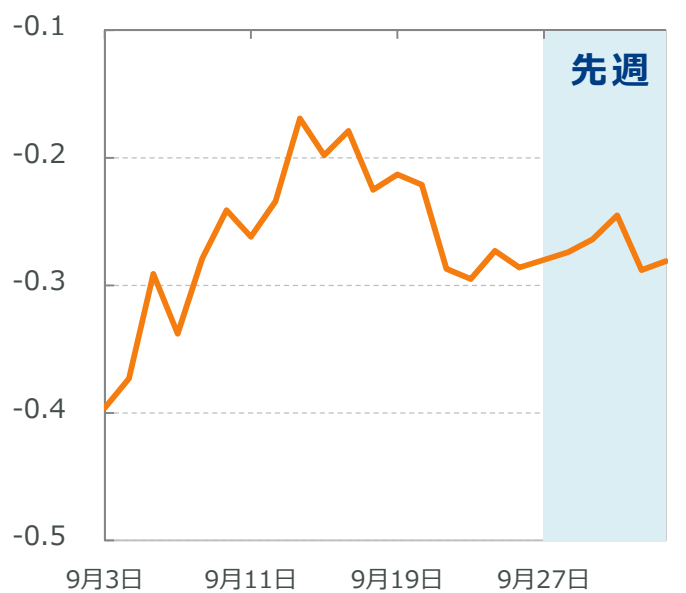
(%)  米国10年国債利回り



(%)  日本10年国債利回り



(%)  フランス10年国債利回り



(注) データは2019年9月3日から2019年10月4日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ちよコツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2019年9月30日～2019年10月4日】

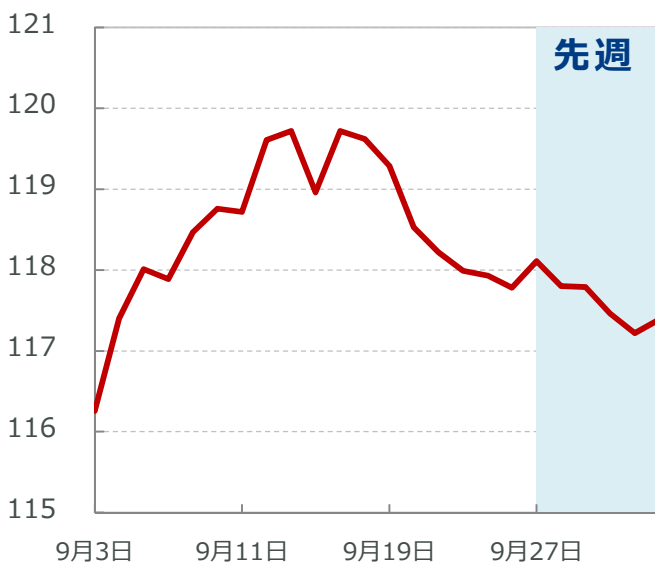
円が買われる動き

- ◆ ISM非製造業総合景況指数が低調となったことが重石となり、米国の利下げ観測が高まったことなどから相対的に安全とされる円が対主要通貨で買われました。
- ◆ 9月の米雇用統計で失業率が約50年ぶりの低水準となったものの、賃金は前月比で小幅マイナスと市場予想を下回る結果となったことなども米ドルが対円で軟調な要因となりました。

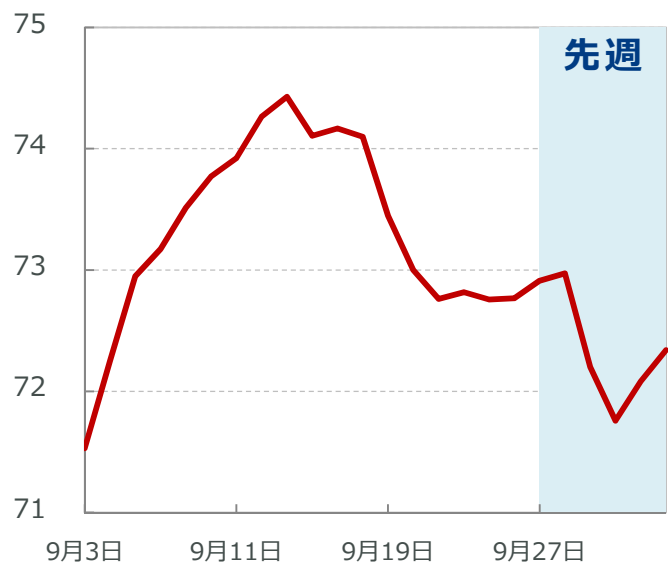
 **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



(注) データは2019年9月3日から2019年10月4日 (日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成